

石巻線女川駅移設復旧計画について

東日本旅客鉄道（株） 東北工事事務所 非会員 ○武田 了祐
 東日本旅客鉄道（株） 東北工事事務所 正会員 阿部 哲
 東日本旅客鉄道（株） 東北工事事務所 非会員 丸子 文之

1. 目的

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により甚大な津波被害を受けた石巻線は、浦宿駅～女川駅間を除く区間が現位置での復旧が完了し運転再開済みである。今回の復旧範囲となる浦宿駅～女川駅間については、浦宿駅～女川トンネル出口までは現位置で復旧し、津波被害の甚大だった女川トンネル出口～女川駅間（図-1）は、自治体の復旧まちづくり計画と一体となって女川駅と線路を移設復旧する計画である。

本稿では、早期の工事着手・運転再開に向けた取組みについて報告する。

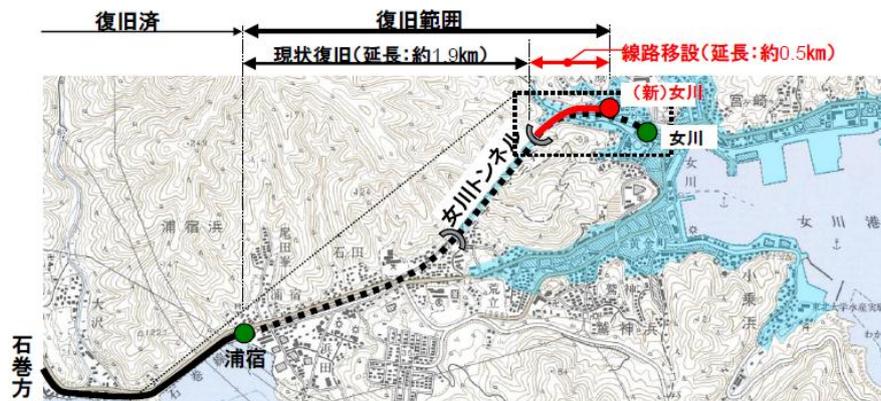


図-1 浦宿～女川間 復旧位置図

2. 計画概要

(1) 配線計画

移設復旧される線路線形（図-2）は、新たなまちづくり計画における駅舎の位置と、既存の女川トンネルとの位置関係から、曲線半径 $R=300m$ を適用した。（※従前の最小曲線半径は $R=250m$ ）

(2) 津波対策

今後の津波対策として、駅周辺は自治体により L1 津波に対応する高さまで嵩上げされ、L2 津波対応としては線路北側への避難路が自治体により整備される計画となっている。その計画とあわせ、女川駅自体も約 200 m 程度の移設を計画した。

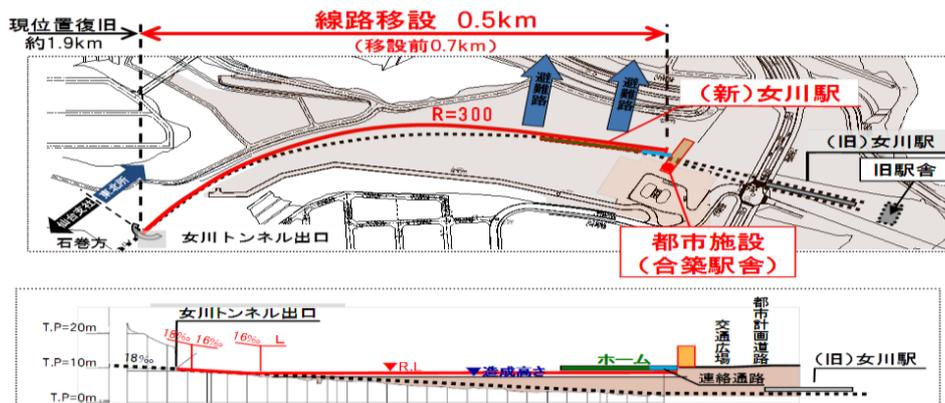


図-2 計画平面図・縦断図

キーワード 移設復旧、まちづくり、東北地方太平洋沖地震

連絡先 〒980-8580 仙台市青葉区五橋一丁目1番1号 TEL 022-208-8310

